

令和 5 年 6 月 29 日現在

機関番号：17201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K11899

研究課題名(和文) アフリカ地域の女性高齢者ケアをめぐる人類学的調査研究

研究課題名(英文) Anthropological Research on Care for Elderly Women in Africa

研究代表者

宮地 歌織 (Kaori, Miyachi)

佐賀大学・教育学部・客員研究員

研究者番号：40547999

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、アフリカにおける脆弱な経済・社会基盤の下で起きる今後の急激な高齢化への懸念から、女性高齢者に対するケアの現状について実態解明を行うことを目的とした。アフリカにおける高齢者についての研究が少ない中で、ケニアにおける農村部・都市部での調査を行うことにより、都市化や近代化の流れの中での女性高齢者をめぐる様々な課題が見えてきたことは大きな成果である。それら研究成果は、日本国際保健医療学会や国際老年人類学会(AAGE)などの学会や論文などで成果として報告された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アフリカにおける高齢化をめくってはまだ調査も少ないことから、社会課題として認識されていない傾向にある。しかし、本研究では、近代化や都市化などの社会変容の中で、高齢者のケアに関して、かつての伝統的な家族によるケアの在り方も変わってきており、高齢者の健康課題への対策が十分ではないことが明らかになってきた。また都市における貧困層の高齢化などの課題もある。急速な高齢化を遂げている日本や他の先進国と同様に、アフリカにおける施策の必要性が明らかとなった。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to elucidate the current situation about care of female older persons in Africa, with the consideration of coming rapid ageing under the fragile economic and social infrastructure.

While there have been few studies on older people in Africa, it is a significant achievement that various issues concerning on women in the context of urbanization and modernization have come to light through surveys in rural and urban areas in Kenya. These research results were reported and published as outcomes at the Congress of Japan Association for International Health and at the Conference of the Association for Anthropology, Gerontology and the Life Course.

研究分野：社会人類学

キーワード：アフリカ 高齢者 女性 ケニア 農村 ケア クワレ

1. 研究開始当初の背景

WHOによれば、アフリカ地域における高齢者は、2050年までに現在の3倍になると予想されている。本研究では、今後のアフリカの高齢化に関して、(1)高齢者に関する農村部と都市部の状況を把握すること、さらには、世界では高齢化にともなう女性の貧困化が課題になっていることから、特に(2)ジェンダーの視点を踏まえた高齢者のケアという二点について着目することとした。

(1) アフリカの農村部と都市部の高齢者の状況把握

アフリカにおいては、脆弱な経済や社会基盤の下で起きる急激な高齢化が予想されている。しかし南アフリカを除き、政府による高齢化対策が実施されている国はほとんどない。また、アフリカの高齢者研究としては、民族誌的な記述の中で、呪術や儀礼、地域のリーダー的な存在として描かれることが多かった。しかし現在は、近代化や都市化、そしてグローバル化という潮流の中で、農村から都市、また海外に出稼ぎに行く者も増え、農村社会も変容している。そして都市でもスラムなどの貧困層も高齢化している。このような社会変化の中で、高齢者のケアはどのように実践されているのかについて、本研究では農村部と都市部での調査研究を行うこととした。

(2) ジェンダーの視点を踏まえた高齢者のケア

申請者はこれまでケニア農村部のジェンダーに関する人類学的研究を長年行ってきた。農村部においては女性高齢者が寡婦になった場合、土地や家屋などの生活基盤へのアクセスが制限されたり、近所や親族からのサポートが得にくくなったという現状があった。また女性高齢者に息子や娘はいるものの、それら子ども達は都市に出稼ぎに行くなど、ケニアの農村でも「独居老人」の課題が認識されつつある。経済的に貧困になりやすい状況の中で、誰がどのように女性高齢者をサポートしているのか、また女性たちがどのようなケアの担い手となっているのかという点に着目した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現在のアフリカにおける女性高齢者のケアがどのように実践されているのかについて質的・量的な調査研究を行うことである。高齢者に関する福祉的・医療的な支援についての検討を鑑みるために、まずは人類学的な質的調査を行うこと、そして統計などに基づく量的な調査の混合的な調査方法を実践することとした。

これまで筆者はケニア(東アフリカ)における農村部の調査実践があるため、本研究では、農村部と都市部の比較のために地域での調査を実施することとした。また西アフリカで最大の人口規模を持つナイジェリアでも急激な高齢化に対する懸念があり、アフリカにおける高齢化対策の在り方について検討すべく、二カ国での比較研究を行うこととした。

3. 研究の方法

本研究期間は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けることとなり、ケニアにおいては現地での調査の実施や期間に変更を余儀なくされた。しかし複数の機関と連携をしつつ調査を実施することとした。また予定をしていたナイジェリアへの渡航についても現地機関への訪問が困難となり、本研究ではケニアに重点を置くこととした。

4. 研究成果

ケニアの首都であるナイロビ(都市部)での調査については、HelpAge International(高齢者に関する調査やアドボカシーを国際NGO)のアフリカ地域事務所との調査協力を得ることができた。HelpAgeが支援を行っているナイロビの複数の高齢者支援団体を訪問し、グループの活動や女性高齢者宅を訪問することで、都市部における女性高齢者(ケアを行う側、ケアを受ける側)の予備的調査を行うことができた。

農村部での調査については、ケニアの国立医学研究所であるKEMRI(Kenya Medical Research Institute)ならびに長崎大学ケニア拠点の協力も得ることができ、クワレ県(東ケニア・沿岸部)にて調査研究を行うことができた。質的なインタビューも行うとともに、長崎大学が実施している約5000名を対象とする量的調査にも協力し、高齢者を取り巻く状況について把握を試みた。それら研究成果は、2023年度に国際学会等で発表予定である。

本研究課題は、アフリカにおける女性高齢者のケアの実態把握であり、ケニアのみの調査となったが、農村部および都市部も含めた調査研究とすることができた。それら研究成果は国内や国際学会で口頭発表を行い、また論文としても出版されている。主な成果は以下の通りである。

(雑誌論文)

MIYACHI, K. and MASUDA, K., "A Preparatory Study of Care for Elderly Women in Rural Kenya", *Arxiu d'Etnografia de Catalunya*, 22(jul), 2021年、査読有、p. 127-146.

MIYACHI, K., "Ageing and Care in Africa: The Case Study of Rural Women's Lives in Kenya", SHIINO, W. and MPYANG, C. (eds.) *Contemporary Gender and Sexuality in Africa: African-Japanese Anthropological Approach (African Potentials: Convivial Perspectives for the Future of Humanity)*, Bamenda: Langaa RPCID, 査読無、2021年、pp.91-116. (総ページ数 344)

(学会発表)

MIYACHI, K., "Diversification of "Family Care" for Elderly Women in Rural Kenya: Consideration of Potential beyond Family", 18th IUAES World Congress, 2018年7月19日、Federal University of Santa Catarina Florianopolis, Brazil (口頭発表・査読有)

宮地歌織「ケニア・クワレ地区の高齢者女性への聞き取り調査について」第33回日本国際保健医療学会自由集会、2018年12月2日、久留米シティプラザ(福岡県久留米市)(口頭発表・査読無)

宮地歌織「HelpAge International Regional Conference(2018)報告」基盤研究A「アフリカにおける未来の人口高齢化を見据えた福祉とケア空間の学際的探求」(平成30年第2回研究会)2019年3月15日、長崎大学(長崎県長崎市)(口頭発表・査読無)

増田研、宮地歌織他「アフリカ農村部高齢者の生活・健康・ケア：ケニア、クワレ県におけるHDSSを用いた研究の予備的報告」第56回日本アフリカ学会、2019年5月18日、(ポスター発表・査読有)

MIYACHI, K. and MASUDA, K., "A Preparatory Study of Care for Elderly Women in Rural Kenya", International Conference "Caring for Elderly and Dependent People: Promoting Gender Equality and Social Justice", 2019年9月12日、Unieversitat Rovira I Virgili, Tarragona, Catalunya (口頭発表・査読有)

MIYACHI, K., "Health and Social Care for Elderly People in Kenya with Gender Perspectives", 2020年7月20日、International Conference of The Association for Anthropology, Gerontology and the Life Course(AAGE), (オンライン学会・カナダ)(口頭発表・査読有)

増田研・林玲子・野口春子・堀井聡子・宮本真二・宮地歌織・吉野龍史・山本秀樹「人口動態サーベイを活用した人類学・国際保健学・人口学の混合アプローチ：アフリカの村落における高齢者のケアと健康」2021年6月20日、海外学術調査フォーラム(オンライン)(ポスター発表・査読有)

(図書)

宮地歌織「ケニア・グシイ社会における子育て」藤後悦子監修『社会的子育ての実現 人とつながり社会をつなぐ、保育カウンセリングと保育ソーシャルワーク』2022年、ナカニシヤ出版、pp.185-186 (総ページ数 208)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Kaori MIYACHI and Ken MASUDA	4. 巻 22
2. 論文標題 A Preparatory Study of Care for Elderly Women in Rural Kenya	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arxiu d' Etnografia de Catalunya	6. 最初と最後の頁 127-146
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.17345/aec22.127-146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計9件（うち招待講演 0件/うち国際学会 7件）

1. 発表者名 増田研、林玲子、野口晴子、堀井聡子、宮本真二、宮地歌織、吉野龍史、山本秀樹
2. 発表標題 アフリカの村落における高齢者のケアと健康：人口動態サーベイを活用した人類学・国際保健学・人口学の混合アプローチ
3. 学会等名 海外学術フェスタ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 増田研、林玲子、発表者：菫蒲川由郷、堀井聡子、野村垂由美、宮地歌織、吉野龍史
2. 発表標題 シンポジウム「コロナ禍のアジア・アフリカにおける高齢者の生存：地域社会と保健システムを模索する」
3. 学会等名 日本国際保健医療学会第36回学術大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Miyachi, K.
2. 発表標題 Health and Social Care for Elderly People in Kenya with Gender Perspectives
3. 学会等名 Annual Conference of Association for Anthropology, Gerontology, and the Lifecourse (AAGE (国際学会))
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Miyachi, K.
2 . 発表標題 Who Has a Right of Decision Making on Her Body? : Controversy Between Female Circumcision (FC) and Female Genital Cosmetic Surgery (FGCS)
3 . 学会等名 18th AP Conference (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kaori Miyachi ,Ken Masuda
2 . 発表標題 Anthropological Study on the Care for Elderly Women in Rural Area in Kenya
3 . 学会等名 International Conference " Caring for Elderly and Dependent People: Promoting Gender Equality and Social Justice", Unieversitat Rovira I Virgili, Tarragona, Catalunya (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kaori Miyachi
2 . 発表標題 Transition of Female Circumcision in Kenya: A Case Study of Gusii People in Western Kenya
3 . 学会等名 17th Asia Pacific Forum, Ritsumeikan Asia Pacific University, Beppu, Ooita (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kaori Miyachi
2 . 発表標題 Diversification of "Family Care" for Elderly Women in Rural Kenya : Consideration of Potentials beyond "Family"
3 . 学会等名 18th IUAES (International Unions of Anthropological and Ethnological Sciences) World Congress (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Kaori Miyachi
2. 発表標題 edicalization of “Female Circumcision” and Anti-FGM Activities in Gusii Community, Kenya
3. 学会等名 AP Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮地歌織
2. 発表標題 ケニア・クワレ地区の高齢者女性への聞き取り調査について
3. 学会等名 第33回日本国際保健医療学会自由集会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 Miyachi, K.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa	5. 総ページ数 364
3. 書名 Chapter 3 "Aging and Care in Africa: A Case Study of Rural Women's Life in Kenya," Shiino, W. & Mpyangu, C.(eds.), Contemporary Gender and Sexuality in Africa: African-Japanese Anthropological Approach (African Potentials: Convivial Perspectives for the Future of Humanity), pp.91-116	

1. 著者名 宮脇幸生、戸田真紀子、中村香子、宮地歌織（編者）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 186
3. 書名 『グローバル・ディスコースと女性の身体：アフリカの女性器切除とローカル社会の多様性』（印刷中）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ケニア	Kenya Medical Research Institute	University of Nairobi		
ケニア	KEMRI			
ケニア	APHRC	HelpAge International	KEMRI	
ケニア	Kenya Medical Reseach Institute	APHRC	Nairobi University	